

発行所 岳風会兵庫県本部
発行者 向田岳陸
編集 広報部

岳風兵庫かわらばん

兵庫県下岳風会吟詠研修会が次のとおり開催された

日時：平成十九年二月二十四日（土）午前十時～午後三時三十分
場所：兵庫県中央労働センター
主催：（社）日本詩吟学院岳風会認可兵庫県下岳風会
招聘講師：吟道哲山流興風吟詠会宗家 山岡哲山
実行委員：県本部及び各認可団体の渉外部（県本部研修部）
実施内容（研修会を午前の部と午後の部に区分）
午前の部は内部的なものとし岳風流統の研鑽を主目的として実施
午後の部は招聘講師による吟界環境の現況と将来の展望及び県連・総連・愛連・その他のコンクール等外部的なものに向けての吟者としての心構え対策等についての研修を主目的として実施



独吟浜崎加奈子さん



独吟原田圭子さん



独吟松浦慶治さん



独吟清水昌子さん



独吟菅美恵子さん



独吟古和田修子さん



独吟奥涼子さん



独吟大木津多子さん

平成十九年二月二十四日、兵庫県中央労働センターに於いて、兵庫県下の岳風会認可四団体の皆さんと共に、外部より講師、吟道哲山流興風吟詠会宗家 山岡哲山先生を招聘して吟詠研修会が開催された。（出席者 320 名）

午前中は、兵庫県本部長向田岳陸先生の岳風流統についてのお話と“青春詩”の解説及び実技の指導が行われ、続いて参加各団体の選抜代表による合吟と独吟が披露された。



“青春の詩”を解説する講師向田岳陸先生



兵庫県本部皆さんの合吟

青春

原作 サミエル・ウルマン
邦訳 岡田 義夫

青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。
優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。
年を重ねただけで人は老いない。理想を失うときに初めて老いが来る。歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に精神はしぼむ。
苦悶や狐疑や、不安、恐怖、失望、こう言うものこそ恰も長年月の如く人を老いさせ、精気ある魂をも芥に帰せしめてしまう。
年は七十であろうと十六であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。
日く、驚異への愛慕心、空にきらめく星辰、その輝きにも似たる事物や思想に対する欽仰、事に処する剛毅な挑戦、小児の如く求めて止まぬ探求心、人生への歓喜と興味。

人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる、
人は自信と共に若く 恐怖と共に老ゆる、
希望ある限り若く 失望と共に老い朽ちる。

大地より、神より、人より、美と喜悦、勇気と壮大、そして偉力の靈感を受ける限り、人の若さは失われない。これらの靈感が絶え、悲嘆の白雪が人の心の奥までも蔽いつくし、皮肉の厚氷がこれを堅くとざすに至れば、この時にこそ人は全く老いて、神の憐れみを乞うる他はなくなる。

この詩は“幻の詩人”とも呼ばれている「サミエル・ウルマン」が70代で書いたものです。彼は1840年、ドイツでユダヤ人両親の長男として誕生しました。その後、両親とともにアメリカに移住し、アメリカ人として過ごしました。

ウルマンは、教育者として、又、ユダヤ教のレイラビ（精神指導者）として、実業家として幅広く精力的な活動をしていましたが、晩年になって数編の詩をつくりました。

この「青春の詩」は1922年に家族が発行した詩集「80年の歳月の頂から」の巻頭の詩です。ウルマンはこの詩集が発表された2年後の1924年に84歳でこの世を去りました。

「人は歳と共に老いるのではない」という書き出しで始まるこの詩、「冒険への意欲」と「熱中する心」と「感動する心」と「理想を追求する心」が弱まった時、人は老いるというのは、まさに至言です。

吟道礼・節の気風を守り新進を得て「共感・啓発率先の年」

兵庫県下岳風会吟詠研修会午後部

午後は“ 招聘講師 ”吟道哲山流興風吟詠会宗家 山岡哲山先生による特別講義があり、その後休憩を挟んで、選抜代表吟者十一名の模擬吟詠実技に対する指導があり、一人一人丁寧に的確な指導が熱心に行われた。

吟界の将来展望では、衰退を続ける現状に対し、二十年先に細々とした吟詠保存会しか残っていないと、云ったような状態にならないように、先を見据えて、後継者の育成に力を入れなければならないと、熱心に語られた。

又、コンクールに対する心構えでは、そう云った特別なものはなく、当たり前のことではあるが“ あがらない ”ように、そして何よりも吟の品性を磨くことが涵養と説かれた。



衰退する現状を如何に食い止めるか!!-----



熱心に聴講する会員の皆さん



一人一人丁寧に指導される山岡哲山先生



午後の始まり気分を変えて全員で合吟



会場となった兵庫県公館（迎賓館）入り口



兵庫県伝統文化体験フェアルポ

平成19年3月3日(土)4日(日)の両日、兵庫県公館に於いて(財)兵庫県芸術文化協会主催による「兵庫県伝統文化体験フェア」が開催された。

このフェアの開催は兵庫県下初めての試みで、これを伝統文化の新たな観賞者や担い手を養成する契機とし、又将来的な振興につなげる事を目的としたものである。

吟剣詩舞や民謡・太鼓など伝統文化を志す15の団体がこのフェアに参加し、ステージでは、それぞれの技能を披露。又、体験コーナーでは初心者向けに教室を開き、その魅力を多面的に紹介、指導が行われた。参加した15の団体は公館内の決められたブースで終日得意のスタイルで団体のPRを行った。

吟剣詩舞の部では、兵庫県吟詠連盟会長 山岡哲山先生から詩吟の魅力について解説された後、両日共独吟2題、剣舞詩舞3題が披露された。岳風会からは3日に菅梢岳先生が独吟を、4日に松浦慶風先生が剣舞の吟者として吟技を披露された。会場は立錐の余地も無い程の盛況で、観客は両先生の吟に陶醉し誰一人として中座する者は無かった。これを契機として詩吟愛好家が一人でも増えてくれることを期待したい。



好みの展示ブースをめぐる一般参加の方々



吟技を披露する松浦慶風先生

地域社会との連携・豊かな組織づくりと少年・青壮年会員の確保!!